

みんなで支えあう 福祉のまちづくり

社協広報 2024.1 vol. **153**

発行 社会福祉法人
上富田町社会福祉協議会

〒649-2105
和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 755-1
上富田福祉センター
tel.0739-47-4757 fax.0739-47-4731
Email k-syakyō@mb.aikis.or.jp
H.P <http://kamtōnda.shakyo-w.jp/>

社協だより



朝来あたごの森（愛宕山）から望む 初日の出

新年のごあいさつ

上富田町社会福祉協議会

会長 平見 信次

新年あけましておめでとう
ございます。

新型コロナウイルス禍がようやく収まりをみせ、いつもの新しい年を迎えることが出来ました。今年は辰年で、十二支の中では唯一架空の動物で、縁起が良いとされています。町民の皆さまにとって、今年は佳き年となりますよう、そして、世界の平和と安穏が一日も早く実現しますようお願いいたします。

さて、社会福祉協議会といえば、町役場と一緒だと思われている方も多いのではないのでしょうか。社協は、社会福祉法に基づき設立された民間の非営利法人です。実際、県社協では県知事が会長に就いていますし、我が町でも、以前町長が会長を兼務した時期がありましたので、そう思われるのも無理からぬことです。また、町民の皆さまや町役場、

福祉関係の機関、民生委員さん等と連携し運営していますので、公益性の高い組織団体だと言えます。

運営費は、町民の皆さまからの会費や寄付金、町からの助成金や委託金、それに事業運営の収益などで成りたっています。業務内容は、地域福祉の推進事業と介護保険事業が大きな柱で、地域の皆さまが抱える様々な事柄を地域全体の課題として、皆で考え、話し合い、協力して解決し、安心して暮らしができる地域づくりを目指しています。

喫緊の課題は、大規模災害への備えです。昨年は関東大震災から、100年目を迎え、その発生周期から、30年以内に南海トラフ巨大地震が起くる確率は70〜80%といわれています。また、現在異常気象が続くなかで、2011年の紀伊半島豪雨のような大災害の発生も心配です。

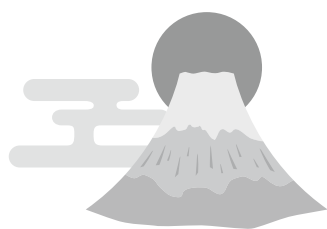
誰も自分の身近で災害が起こるとは想像したくありませんが、このような災害危機が迫っているのも事実です。

社協は、万が一、町内で甚大な被害が発生した場合に、

生活・復旧支援のためのボランティアを町内外から受け入れ、ボランティアと被災者との連携を図るセンターを立ち上げる役割を担っています。そのための学習や訓練を行っているところです。

社協のシンボルマークは、「社」を図案化したもので「手」とりあって、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。常に町民の皆さまの声を聴き、寄り添っていく事を基本とし、職員とつまでも安心して生活できるように、引き続き取り組んで参ります。

本年も町民の皆さまの尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、役職員一同を代表して新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

本年も変わらぬご支援を
よろしくお願い申し上げます。

会長	平見 信次
副会長	山本 陽子
〃	谷本 義久
理事	藪内 博文
〃	林 弘子
〃	榎本 正行
〃	谷端 清
〃	中井 照恵
〃	出水 精一
〃	川口 則光
〃	木村 陽子
監事	岩本 岩男
〃	木村 勝彦

社会福祉協議会

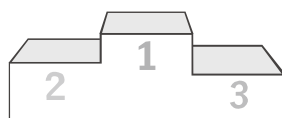
職員一同



グラウンドゴルフ・ゲートボール大会

令和5年10月31日に岩田公園にて「第33回ゲートボール大会及び第22回グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

ゲートボールには4チーム・グラウンドゴルフには47名の参加があり、元気な笑顔が集いました。親睦を深めながら競い合い、楽しい時間を過ごす事ができました。ご参加・ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



心配ごと相談

令和6年1月～令和6年3月までの相談日

上富田町社会福祉協議会では、下記日程で午後1時～3時まで心配ごと相談所を開設しています。費用は無料で、相談内容の秘密は厳守されます。

相談は、相談員3名、事務局職員1名で対応します。また、下線のついている日は法務局職員による相談も行っております。お気軽にお越し下さい。

上富田町社会福祉協議会(上富田福祉センター) TEL 47-4757

上 富 田 福 祉 セ ン タ ー	1月 4日(木)	1月18日(木)
	2月 1日(木)	2月15日(木)
	3月 7日(木)	
市ノ瀬農村環境改善センター	3月21日(木)	

善意のご寄付お礼

令和5年9月1日から令和5年11月30日まで社協へお寄せいただきました善意のご寄付です。厚くお礼申し上げます。

●満中陰の志として

岩崎 柏山 文人 様
生馬 下滝 秀明 様
岡 平田 誠宏 様
市ノ瀬 弓場 厚子 様

●金一封として

岩田 小川 雅広 様

●タオル

朝来 竹田 茂子 様

他にも匿名の方のご寄付を頂いています。皆様方のご芳志に感謝申し上げます。



子育て支援の一環として、
10月22日(日)に上富田福祉センターにて
『くちくまのdeマルシェ』を

開催しました。

みんなおいでよ！
いっしょにあそぼ！

ハンドメイドショップやワークショップ、フードコーナー、廃材を使ったアート体験にゲームコーナー、午後からは絵本の読み聞かせ等・・・

開始時間と共に、たくさんの方が来られ、それぞれのコーナーをお楽しみいただきました。フードコーナーも完売！

ボランティアの方にもご協力いただき、晴天のもと、子どもたちの笑い声も聞こえ、賑やかに開催する事ができました。ありがとうございました。



・フードコーナー
・ゲームコーナー

・アート体験
・読み聞かせ
・ハンドメイドショップ



社協紀南ブロック災害訓練

(広域同時多発・南海トラフ地震に備えて)

訓練日時 令和5年11月28日(火)～12月3日(日)

場 所 新宮市会場：新宮市福祉センター
太地町会場：旧グリーンピア南紀多目的ホール
に於いて実施
(12月3日は「津波注意報発令」により訓練中止)



県内複数の市町村が被災した場合、県内の関係者が連携しながら地域を超えた助け合い活動を展開し、各地域の状況に即した支援を届ける事ができるよう訓練を行いました。

支援の三原則「被災者中心・地元主体・協働」の実践をスローガンに、紀南ブロックの社協職員を中心に、県内社協職員・民間団体・福祉関係者等が連携を取り合いました。

南海トラフ地震による複合災害を想定し、

- ①11月28日・・・地震が発生したと想定し、行動点検・連絡訓練
- ②12月 1日・・・対応協議（災害 VC 開設）訓練
- ③12月 2日・・・災害 VC 開設準備訓練

を行いました。

12月3日は「災害ボランティアセンターの運営開始と支援活動体験」を予定していましたが「津波注意報発令」により急遽訓練は中止となりました。

いつ起こるかわからない災害。万が一に備え、心構えができる機会になりました。

デイサービスセンター くちくまの作品紹介



デイサービスセンターくちくまのご利用者の皆さまで来年の干支「辰（タツ）」の絵馬を作りました♪



『令和6年は辰年!』



夏から作業を始め、お花紙を丸め
ボンドで貼り付け仕上げました!



令和5年度「愛の日」事業 実施報告

今年度は、上富田町民の皆様からご協力頂きました社協会費を財源として、民生児童委員さんが障がい者のお宅を訪問（123名）し、愛の日の品をお届けしました。